

2022年度 一般社団法人兵庫県助産師会 「助産師のちからアップ」研修会



一般社団法人兵庫県助産師会
Hyogo Midwives Association

研修方法 zoomによるライブ配信
その後オンデマンド(録画)配信

*オンデマンド配信の詳細については、後日ホームページに掲載いたします。

参加費(1研修) 日本助産師会会員 3000円
日本助産師会学生賛助会員 無料
非会員 6000円 非会員学生 1000円

*兵庫県助産師会会員は無料の研修があります。
*入金後は返金できませんのでご注意ください。

お申込み 一般社団法人兵庫県助産師会ホームページ「[助産師の研修](#)」から、

ライブ配信は配信日の4日前までにお申込みください。

オンデマンド配信はホームページをご確認ください。

*ライブ配信を申し込まれた方は、オンデマンド配信もご覧いただけます。



NO	研修名	講師	ライブ配信	研修内容
1	～産後の育児を見据えた妊娠期からの 家族支援～ (保健指導部会企画) 兵庫県助産師会会員 無料	東 豊 (家族支援心理士・ 臨床心理士)	9月19日 (月・祝) 13:30～15:00 (90分)	産後の母親の精神、育児環境に関わる「家族関係」に焦点を置き、妊娠期からの家族支援のためのアセスメントや支援方法を学びましょう。 ※産後ケア実務助産師研修⑧
2	虐待発生予防の母子保健政策と 助産師の役割 (産前産後ケア事業部企画) 兵庫県助産師会会員 無料	佐藤 拓代 (母子保健推進会議 会長)	10月15日(土) 13:30～15:00 (90分)	虐待予防としての母子保健事業において、産後ケア事業だけでなく今後必要とされる切れ目ない支援の展開や助産師の果たす役割を学びましょう。 ※産後ケア実務助産師研修⑦
3	分娩型助産所同士の協働について (助産所部会企画)	草野 恵子 (くさの助産院 院長)	10月23日(日) 10:00～11:30 (90分)	小規模の助産所同士がどのように連携を取り運営をしているか学び、助産所数や助産所での分娩数の増加の理由を静岡県方式から知りたいと思います。助産所経営の理解を深めましょう。
4	周産期のメンタル不調を抱えた妊婦の 支援 (産前産後ケア事業部企画) 兵庫県助産師会会員 無料	相川 祐里 (臨床心理士・公認 心理師・助産師)	11月19日(土) 10:00～11:30 (90分)	産後ケア等で産後うつをはじめとした周産期のメンタルに不調のある事例に関することがあります。周産期メンタルヘルスの現状を踏まえ、産後うつ病の方に出会った時の対応を学びましょう。事例を通して、具体的な声掛けやその後の連携支援のポイントも学びましょう。 ※産後ケア実務助産師研修⑨
5	プレコンセプションケアについて知ろう (子育て・女性健康支援センター企画)	池田 裕美枝 (京都大学 医学部附属病院 産婦人科医師)	11月19日(土) 13:30～15:30 (120分)	プレコンセプションケアが謳われるようになった理由、女性のライフサイクルと健康、妊娠適齢期とキャリア形成時期一致の現状、女性の健康を守るために最新の医学事情、包括的健康教育の必要性、男性とプレコンセプションケアについて、具体的な実践例から学びましょう。

NO	研修名	講師	ライブ配信	研修内容
6	周産期のハイリスクケースの他職種連携の実際について(産前産後ケア事業部企画) 兵庫県助産師会会員 無料	吉羽 陽子 (神戸市こども家庭局 家庭支援課保健師)	11月20日(日) 10:00~11:30 (90分)	助産師の支援対象が特定妊婦や要保護児童とその家族といった虐待のハイリスクケースも増加しています。多職種連携で母子とその家族を支える助産師の役割と支援、連携のポイントについて学びましょう。地域で継続して母子を支援されている保健師から、具体的な事例と支援の実際を学びましょう。 ※産後ケア実務助産師研修⑦または⑧
7	発達障害を持つ妊産婦の周産期のメンタルヘルスについて(産前産後ケア事業部企画) 兵庫県助産師会会員 無料	玉木 敦子 (神戸女子大学)	11月20日(日) 13:30~15:00 (90分)	発達障害を持つ妊産婦の特性を踏まえたメンタルヘルスへの配慮や支援のポイントを学び、実践に活かしていきましょう。 ※産後ケア実務助産師研修⑨または⑩
8	女性に優しいお産 分娩介助に関するスキルアップ研修(勤務助産師部会企画)	毛利 多恵子 (毛利助産所 所長)	11月27日(日) 10:00~11:30 (90分)	お産は、本来本能的な行為であり、産婦は誰からも方法論を押し付けられることなく、自由に呼吸し、楽な姿勢で産む権利があります。また、産む女性と生まれてくる赤ちゃんの主体性を尊重した出産は、本来備わっている出産機能を最大限に引き出すことが出来ます。そんな出産をサポートできる「お母さんと赤ちゃんに寄り添う助産ケア」と一緒に学びましょう。
9	CTGモニタリングを事例から判読する —中井先生講義応用編— (勤務助産師部会企画)	中井 章人 (日本医科大学 多摩永山病院 院長)	12月17日(土) 10:00~12:00 (120分)	CTGの判読は、臨床において悩むことがあります。母子の生命と健康を守れる助産師であるために、基礎的な知識を踏まえた上で、中井先生や参加者同士の事例を用いたディスカッションにより、判読とその根拠が明確になる応用研修です。 ※参加の際には以下の研修を終了しておいてください。 ・分娩期の胎児心拍陣痛図(CTG) (旧:分娩時の胎児心拍図(CTG)に関する研修) ・臨床薬理(妊娠と薬) (旧:子宮収縮薬の使用と管理)
10	医療トラブル・クレームの事例を通して(医療事故調査制度支援委員会企画)	伊藤 進一 (伊藤産婦人科 院長)	12月17日(土) 13:30~16:00 (150分)	医療事故の再発防止を目的として、職場における医療トラブル・クレーム対応について事例をもとにグループワークを通して認識を共有しましょう。
11	災害時の母子支援のための助産ケアを学ぶ (災害対策委員会企画)	蛎崎 奈津子 (岩手医科大学 看護学部教授) 阿部 久美子 (久保みづき レディース クリニック助産師)	1月21日(土) 13:30~15:30 (120分)	災害時、ライフラインが途絶し、十分な衛生材料がない中での助産ケアについて学びます。特に、分娩時の対応と新生児と共に避難するのに役立つ“抱っここの方法”について学びましょう。

研修番号 9 は CLoCMIP®アドバンス助産師申請・更新のための「必須研修」に活用できます。

研修番号 9 以外は、CLoCMIP®アドバンス助産師申請・更新のための「選択研修」に活用できる研修です。

妊娠、分娩、産後ケアと切れ目なく寄り添う 助産師ケアの実際を学ぼう！

毎年ご好評いただいている助産所実地研修を、今年度も複数の助産所で開催いたします。助産師が目指す妊娠褥婦に寄り添うケアを、**助産所実地研修**で学びませんか？

研修日や対象助産所など、詳細はホームページで
ご確認下さい。

**兵庫県会員
無料**

新生児蘇生法研修会

*「スキルアップ」コース(Sコース)

*「知識・技術の維持・向上」コース

詳細はホームページ及び**兵庫県会員一斉**
メールにてお知らせ致します。

※本研修の一部は兵庫県の「令和4年度助産師の質的向上研修支援事業」の補助金を受けて実施しています。

【お問い合わせ先】 一般社団法人 兵庫県助産師会 事務局

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 5-8-14 山手ダイヤハイツ 305

TEL:078-362-1310 (月~木 10:00~16:00)

HP:<http://hyogo-josansikai.com/>